

ATTENTION

ウォーレン・バフェットの後継者、グレッグ・アベルさんとツーショット！



この写真は、今年のパークシャー・ハサウェイ株主総会のエキシビジョン会場で撮ったツーショット写真です。お相手は、バフェットの後継者として、次期パークシャー・ハサウェイの最高経営責任者(CEO)に指名されているグレッグ・アベルさん。現在は、パークシャー・ハサウェイの鉄道、電力・エネルギー、様々な製造・販売を手掛ける事業の統括責任者で、パークシャー・ハサウェイの副会長のポストにいます。どうしてこの撮影が実現できたか、皆さん、興味があると思いますので、お話ししましょう。この場所は、パークシャー・ハサウェイ傘下の企業が、製品(プライベートジェット、巨大なキャンピング・トレーラー、住宅のモデルハウス、鉄道のジオラマ、日用衣料品、スポーツウェア、アイスキャンディ、チョコレート……)を展示したり、販売したりする場所なのですが、そこに、アベルさんが現われたのです。そこで私が思い切って「一緒に写真を撮ってもらえますか？」と頼んだわけです。すると「喜んで！」と言ってくれ、秘書が撮ってくれたのです。その時の会話。グレッグ：「どこから来たの？」私：「日本からです。」するとアベルさんは「去年、東京に行ったよ。」と答えてくれました。この「東京に行った」というのは、2023年4月にバフェットに同行して、東京に来て、投資先の商社5社と会談を持った時のことを指しています。このように気さくにツーショット写真に応じてくれ、ますます次期CEOに好感を持つこととなりました。そして私にとって、この写真は宝物となりました！

COLUMN

人とよい会話をするために

いい会話ができるということは、人間が話す生物である限り、大変大きなことです。古代ギリシャの昔から、よい会話の話は語り継がれています。相手に話させろ、よく聴け、関心を示せ、質問しろ、噂話はするな、自分のことを話し過ぎるな……。この著者は、さらに踏み込んで、よい会話の方法について述べています。会話の種類は、意思決定、感情、社交の会話の三つに分かれる。どういう会話をするかにより、自分の向合い方を決めて、相手に合わせ、会話のずれを防ぐ。

●意思決定を求めている様であれば、よく聴き、相手の心づもりを測り、隠れた動機を見つける。そして、実際の助言を求めているのか、ただ聞いてほしいのかを判断する。

●相手の感情や気持ちを聞く会話は、信用や結びつきを強める。相手の弱さを認め、自分の弱みも見せれば、相手はあなたと一層親しく感じるようになる。

●社交的会話をする際には、信用や結びつきを深めるために、いろいろなことを聞いてみる。趣味など共通する所を探して違いを埋める。こういった会話の最終目的は、相手との結びつきを深めることにある。コミュニケーションに卓越する人は、相手を気持ちよくさせ、たくさん質問をして、相手に関心があることを示す。そして、自分の弱さや失敗を見せる。人が会話による結びつきを強めると、同調を感じ、脳にも良い刺激を与え、大きな喜びを感じるようになる。

人と結びつきが往々にして弱まる中、このような会話を心がけることは、大いに日々の暮らしを豊かなものにするでしょう。

参考図書：Supercommunicators by Charles Duhigg

MARKET

(5月末)	(4月末比)
日経平均	
38,487.90円	+82.24円 (+0.21%)
NYダウ	
38,686.32ドル	+870.40ドル (+2.33%)
米ドル	
157.30円	-0.55円 (-0.35%)

私の書棚より

・弱い人は幸福の幻想を追いかけて「財産への道」を行き、賢人は真の幸福を求めて「徳への道」に行く。しかしながら、人類の大半は、富と地位の感嘆者であり崇拜者だ。
・正直は最良な方策だという昔からのことわざは、中流および下層階級の人々については、ほとんど完全な真理として当てはまる。
-アダム・スミス「道徳感情論」一部三編三章

バフェットから教えてもらうこと

世界中から4万人がウォーレン・バフェット率いる株主総会に集まるのですが、その人たちの表情には独特なものがあります。「わくわく」「バフェットに会える」「幸せ感にあふれている」「バフェットの株主総会に来た喜び」というようなものです。そのため、会場の雰囲気は、独特です。米国のいなか、中西部のネブラスカ州オマハまで、はるばる世界から来るのですから、尋常ではありません。ウェブで株主総会の生中継まで見える中で、オマハまでなぜ来るのか。

それはひとえに、株主を心から歓迎するバフェットにあるということです。バフェットにとって、「株主は身内。」ここは、皆さんは文字通りには受け取れないところでしょうが、実にそうなのです。ある日娘のスージーがバフェットに「パパは株主を酸素のように見ているのね。」と尋ねるとバフェットは「いやいや、血液のようなものだ。」と答えたそうです。果たして、企業の経営者で、そこまで言う人がいるでしょうか。バフェットは、心から株主を歓迎しているのです。

バフェットの言葉を聞きに来る株主は、バフェットのように金持ちになる方法を知るために来る人は少ないでしょう。むしろ「どのようにしたら、バフェットのように幸せな人生を送れるか。」を知るために来るといえます。投資で成功する方法より、豊かで実り多い人生を送るには、どう心がけたいかを学ぼうとするのです。そのため、そこにいる人の表情は、なんとなく充実した雰囲気があり、総会の終わりには、たくさんのことを学べたという満ち足りた表情になっています。そして、バフェットに対する感謝の気持ちがふつと湧いてくるのです。

バフェットとマンガーの存在は、パークシャー・ハサウェイの株主にとって、まさに人生の師、恩人という感覚でしょう。株主からの質問の冒頭は、ほとんどが「これまで、様々な大事なことを教えてくれてありがとう」という感謝の言葉で始まります。それに応じるバフェットは、「そう言ってもらえてうれしい、来年も来て。」バフェットとマンガーの生き方、人生の歩みは、人間のあるべき生き方、充実した人生が送れ、世の中に貢献できる生き方ということなのです。

バフェットの富は、これまですでに寄付してきたものを入れると、優に2,000億ドル(30兆円)を超える途方もない金額ですが、99%寄付するとしています。「社会に還す」ということです。その影響は途方もないものとなります。こう見ると、どうも「神様が還す人に託した。」という自然の摂理を感じます。

バフェットはこういいます。「ある程度、お金ができると、あとはいくら増えても関係なくなる。」バフェットの給料は長年10万ドルで変わりません。そして、使わないので、5万ドルは返しているとのこと。朝食は、通勤途中で買う、マクドナルドの朝食セット。住まいは、町の中流クラスが住む地域にあり、65年以上住んでいます。こう見ると、バフェットの生き方は至ってシンプル、そして儉約家。それが長い間に、雪だるまのように、どんどん大きくなったということです。

人間、こうあるべきとやりたいところですが、まさに頭が下がるばかりです。「生きる歴史上の偉人」を見る思いです。こういう人物に接することができるのは、人生の幸運といつてよいでしょう。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品をお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp